

第 105 回日本精神神経学会総会

シ
ン
ポ
ジ
ウ
ム

成人期の支援——ストレスマネジメントを中心に——

高 山 恵 子〔特定非営利活動法人（NPO 法人）えじそんくらぶ〕

発達障害者支援法が徐々に浸透し、発達障害の講習会やモデル事業が企画され、各地で具体的な支援が実施されるようになった。しかしその多くが早期発見・早期支援を重視し、義務教育までの支援が中心である。えじそんくらぶでは、主に ADHD を中心とした発達障害のある子の親支援を重視しているが、親も発達障害を持っているケースが多くみられる。その支援の中で浮き彫りにされてきた成人支援の現状と課題をまとめてみた。

特にジャーメインが提唱した、エコロジカルソーシャルワークの視点から「発達障害のある成人」と「日本社会という環境」の間に生じる「生活ストレス」に注目し、当事者の視点から支援を提案した。中でも日本での発達障害の支援における医療モデルの限界を踏まえ、生活モデルの視点を重視した支援：ストレスマネジメントに関して話題を提供させていただいた。

（この論文は抄録集より転載しました）